

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院における NST が介入した脊髄損傷周術期栄養管理の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2021 年 1 月から 2025 年 7 月までに昭和医科大学横浜市北部病院で脊髄損傷の手術を行った患者さん

2. 研究目的・方法

脊髄損傷（以下、本症）の診療で他科、他職種に跨るチーム医療は必須です。栄養管理においても医師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、薬剤師などからなる栄養サポートチーム（Nutrition support team：NST）が積極的に介入しています。本症の栄養管理は患者さん個々の状態を考慮しながら行いますが、周術期を含む急性期の栄養管理では、より多くの因子を考慮したうえで行う必要があります。とくに近年では、患者さんの高齢化により、術前から高度の栄養不良、多くの併存疾患を有することも多くなっています。本症の慢性期栄養管理についての報告は比較的多くありますが、急性期栄養管理に関する報告はまれです。今回、当院で NST が関与した本症周術期栄養管理について調査することで、今後の当院における本症栄養管理について再検討を行います。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、疾患名、受傷原因、受傷日、損傷部位、既往歴、入院日、退院日、転帰、ASIA 分類、併存疾患、術式、手術日、発症前 ADL、人工呼吸の有無、気管切開の有無、胃ろうの有無、摂食嚥下チーム介入の有無、入院時身長・体重・血清アルブミン値・総リンパ球数・入院時栄養評価、NST 依頼日、NST 初回介入日、初回介入時身長・体重・血清アルブミン値・総リンパ球数・入院時栄養評価・必要エネルギー・投与エネルギー、栄養投与経路、経口摂取再開日、経腸栄養開始日、NST 介入終了時の身長・体重・血清アルブミン値・総リンパ球数・入院時栄養評価・必要エネルギー・投与エネルギー、栄養投与経路。経口摂取再開または経腸栄養開始後の 3 日以上絶飲食の有無とその理由。

5. 外部への試料・情報の提供

該当しません

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学横浜市北部病院	NST、小児外科	杉山彰英
研究分担者	昭和医科大学横浜市北部病院	NST、小児外科	安藤晋介
	昭和医科大学横浜市北部病院	NST、看護部	黒瀬聡子
	昭和医科大学横浜市北部病院	NST、栄養科	小原奈々
	昭和医科大学 薬学部 病院薬剤学講座 病院薬剤学部門、NST		木村祐子
	昭和医科大学横浜市北部病院	NST、臨床検査室 臨床検査部門	五十嵐 緑
	昭和医科大学横浜市北部病院	整形外科	大下優介

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院小児外科 氏名：杉山彰英

住所：〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7130（小児外科外来）